

長月(September)の校長 学園祭『彩(いろどり)』(R4.9.1~9.4)

今年の学園祭の統一テーマは『彩(いろどり)』

各色組が、各クラスが、個人個人の特有の輝きを放てるような学園祭にしたいという生徒会執行部の想いが込められたテーマです。

残念ながら今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度同様に入場者を制限しての実施となりますが、今までの形を活かしながらも皆で協力し工夫しながら創り上げていく学園祭となりました。

しかも、例年2日間の文化祭で利用させていただいている「グラントワ」が改修工事で使用できないため、文化祭初日は「益田市民体育館」をお借りして、3年生伝統の各クラスの『演劇』と、昨年度に続いて1年生による『合唱コンクール』を行いました。

特に、今年度3年生の『演劇』は、歴代唯一の「益田市民体育館」での実施ということで、「グラントワ」のスタッフの皆様のおかげで、ステージの設置から音響・照明まで大変お世話になりました。例年と大きく違い、3年生も準備から本番の演技までかなり工夫する必要があり大変だったと思いますが、各クラスとも見事な演技を披露してくれました。

そして文化祭2日目は、学校にて模擬店や各種展示、生徒会企画のオンラインによる全クラス対抗のクイズ等で大変盛り上がりしました。

ただ、今年度の学園祭は一昨年度までの日程に戻し、文化祭、体育祭の3日間連続で実施予定でしたが、最終日の体育祭については、台風の影響で1日順延となり、残念ながらコロナ感染対策で一部競技もカットしました。しかし、昨年と違って青空の下、良いコンディションで実施することができ、天気が良いすぎてとても暑かったですが、2年生による『デコレーション』が披露され、『パフォーマンス』で躍動する姿を見ることができました。

3日間に渡って、演じ、歌い、描き、舞うことで、各学年・各クラスが創造力・団結力を表現し競い合いながらも、それぞれの『彩(いろどり)』を交差し重ね合わせ、さらに艶やかなものと表現してくれました。その生き生きした笑顔、真剣なまなざしがとても印象的であり、パワー、エネルギー、情熱、そして結束力と一体感を、様々な場面で感じることができました。短い準備期間を工夫しながらも、たぶん色々な失敗をし、ぶつかり合いもあったのではないかと思います。そんな中で、皆で一つのものを作り上げることの難しさや大変さを感じるとともに、お互いのエネルギーを結集して、失敗を恐れずチャレンジし、やりきった達成感や充実感を味わうことができたのではないのでしょうか。

最後になりますが、夏休み前から長きに渡って準備・運営に携わってくれた生徒会執行部の皆さん、本当にご苦労様でした。また、周囲と協力しながらも個々の役割を責任持って務めてくれた生徒の皆さん、生徒部中心に生徒と共に準備・運営をしてくれた教職員の皆さん、そして保護者の皆様、益田市民体育館、グラントワや地域の方々など、学園祭に関わってくださいましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

皆さんご苦労様でした。本当にありがとうございました！！